

GPS/JIPS 安全性要約書

1. 物質名 (SUBSTANCE NAME)

硫酸ナトリウム (CAS 番号 7757-82-6)

2. 物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

硫酸ナトリウムは、 Na_2SO_4 で表される、硫酸とナトリウムの塩で、天然にはボウ硝として産出する無色の結晶、または白色の結晶性の粉末です。無水物は湿度が高いと吸湿するため乾燥剤として用いる場合があります。主な用途として合成洗剤、ガラス、紙パルプなどの製造に用いられます。

3. 化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
化学名又は一般名	硫酸ナトリウム
製品名	ボウ硝
別名	硫酸ナトリウム
CAS 番号	7757-82-6
その他の番号	官報公示整理番号 化審法:(1)-501 安衛法: 既存化学物質
化学式等	Na_2SO_4
構造式	$\text{Na}^+ \text{O}^- \begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{S} \\ \parallel \\ \text{O} \end{array} \text{O}^- \text{Na}^+$
出典・備考	昭和電工株式会社発行の SDS 第 3 項

4. 使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

主な用途	当社の製品は、合成洗剤、ガラス、紙パルプ、染色助剤、入浴剤配合原料の製造などに使用されています。他にも、合成洗剤、食品添加物などに使用されます。
------	--

5. 物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

無臭の白色結晶で、吸湿性があり、空気中で一水塩になります。加熱すると、 100°C で単斜系結晶となり、 500°C でアモルファス、 884°C で溶解します。保管時には、温度の低い乾燥した場所に保管する必要があります。

外観	固体
色	白色
臭い	無臭
融点/沸点	884°C / データなし
引火点	なし(引火せず)
相対密度	2.70
水への溶解度	410 g/L (30°C)
出典・備考	昭和電工株式会社発行の SDS 第 9,10 項

6. ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

危険有害性項目	GHSIによる分類結果および評価コメント
急性毒性(経口)	区分に該当しない

急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない(非該当)
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B 眼刺激
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
出典・備考	昭和電工株式会社発行のSDS第2,11項
<p>・GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 世界的に統一されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報をラベルで表示し、安全データシートを提供したりするシステムです。</p> <p>・区分に該当しない(非該当): GHSで定義される物理的性質に該当しないため、当該区分での分類の対象となっておりません。</p> <p>・区分に該当しない: GHS分類を行うのに十分な情報が得られており、分類を行った結果、GHSで規定するいずれの区分にも該当しないと考えられます。</p> <p>・分類できない: 分類を確定するための十分に信頼性のあるデータがなく、分類できません。</p>	

7. 環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

危険有害性項目	GHSによる分類結果および評価コメント
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない
出典・備考	昭和電工株式会社発行のSDS第12項

環境中の運命・動態

土壌中の移動性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
PBT/vPvBの結論	PBT(環境中に残留し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する)、vPvB(環境中に非常に残留し、非常に高い生物蓄積性を有する)には該当しないと考えられます。
出典・備考	昭和電工株式会社発行のSDS第12項

8. ばく露 (EXPOSURE)

詳細	ばく露の可能性
作業員ばく露	<p>当社製品は、十分に管理された閉鎖系・連続プロセスで製造されますが、作業において、メンテナンス、サンプリング及び装置故障の際等に、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります(PROC2)。</p> <p>バッチ及びその他のプロセスでの作業において、メンテナンス、サンプリング、充填、排出及び装置故障の際等に、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります(PROC4)。</p> <p>調剤や成形品製造におけるバッチでの混合・混和作業において、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります(PROC5)。</p> <p>専用設備における移し替え作業において、塵、蒸気、エアロゾルまたは</p>

	流出、装置の清掃に関連した、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性 があります (PROC8b)。
消費者ばく露	当社製品は、一般消費者にて直接使用されることはありませんが、硫酸ナトリウムが配合された製品、合成洗剤、入浴剤での使用の際に、吸入や皮膚・眼との接触の可能性が有ります (PC 35)。
環境ばく露	当社製品は、通常、閉鎖系プロセスで製造され、使用されるので、環境への排出は限られます。当該物質の調合工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性が有ります (ERC2)。 原料内への調合工程や原料上への定着工程から、主に大気環境へ放出される可能性が有ります (ERC3)。 成形品の加工助剤(添加剤)として屋内で使用され、広範囲の大気及び水環境へ多く放出される可能性が有ります (ERC8a)。
注意事項	他の用途におけるばく露の可能性がある場合、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施して下さい。

9. 推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

推奨するリスク管理措置により、8 項のばく露シナリオによる作業員、消費者及び環境に対するリスクは、最小化可能と考えられます。

詳細	推奨するリスク管理措置
作業員	<p>技術的対策: 保護具を着用して取扱して下さい。防爆型の電気機器、換気装置及び照明機器を使用して下さい。着火原として静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置して下さい。</p> <p>局所排気・全体換気: 取扱い時には良好な全体換気の室内で使用してください。</p> <p>許容濃度: 設定されていません。</p> <p>保護具: 作業の際は、呼吸用保護具(認可を受けた有機ガス用防毒マスク、捕集率 90%以上のマスク)、及び皮膚への接触を避けるため耐薬品性のあるゴム製手袋(APF10 (防護率 90%))、使用状況に応じて安全眼鏡を着用して下さい。</p> <p>注意事項: 作業責任者は、作業員に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法などの教育をして下さい。</p>
消費者	取扱注意書きに従った適切な使用方法では人に悪影響をもたらさないばく露レベルになると考えられるため、製品ラベルに記載の指示に従って下さい。
環境	適切な排水処理施設や排ガス処理施設を設置する。また、漏洩防止策を講じ、定期的な排出量の確認、日常管理、取扱いに注意して下さい。
特記事項(漏出時の緊急措置など)	<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 危険有害性は低いが、作業の際には、保護具を着用し、吸入、眼及び顔面への接触、皮膚付着を防いで下さい。</p> <p>環境に対する注意事項: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意して下さい。</p>
注意事項	通常での取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、昭和電

工(株)発行のSDSの4,5,6,7,8,13,14項を参照して下さい。

10. 政府機関のレビュー状況 (STATE AGENCY REVIEW)

国際機関、各国当局によるレビュー	
IPCS (国際化学物質安全性計画)	国際化学物質安全性カード https://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.display?p_lang=ja&p_card_id=0952&p_version=2
OECD (経済協力開発機構)	高生産量化学物質(HPV chemicals)点検計画 https://hpcchemicals.oecd.org/UI/Search.aspx
NITE-CHRIP (NITE化学物質総合情報提供システム)	https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
政府によるGHS分類結果	https://www.nite.go.jp/chem/ghs/19-mhlw-0017.html

11. 法規制情報/GHS分類情報・ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION/GHS CLASSIFICATION AND LABELLING INFORMATION)

法規制情報

適用法令	規制状況
労働安全衛生法	通知対象物質ではありません
毒物及び劇物取締法	通知対象物質ではありません
消防法	対象物質ではありません(非危険物)
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 硫酸ナトリウム溶液
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号) ナトリウム及びその化合物
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	通知対象物質ではありません

GHS 分類情報

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B
-------	------------------------

ラベル情報

注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激 (H320)

12. 連絡先 (CONTACT INFORMATION)

会社名	昭和電工株式会社
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミュージア川崎セントラルタワー23階
担当部門	基礎化学品事業部 有機製品部 AN・有機製品グループ
電話番号 / ファックス番号	044-520-1348/044-520-1349

13. 発行・改訂日、その他の情報 (DATE OF ISSUE / REVISION, ADDITIONAL INFORMATION)

発行日: 2021年6月30日
改訂:

改訂日	改訂項目	改訂箇所	版
2021年12月28日	14.	最新情報に更新	Rev.2

記載の情報は、2020年9月10日 改訂版の安全データシート(SDS)に基づいています。

14. 免責条項 (DISCLAIMER)

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み(GPS/JIPS: Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象品に関する安全な取扱いに関する情報を概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全データシート(SDS)や化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。本安全性要約書は、発行時点で入手可能な法令、資料、情報等のデータに基づいて、できる限り正確な記載に努めておりますが、すべてのデータを網羅したわけではありません。また、いかなる保証をするものでもありません。